

春のふるさと交流会に参加して

横浜市 中島幸雄（寺町二丁目出身）

二年振りに、ふるさと交流会に参加しました。四月十三日の明け方、横浜は小雨が降っていました。十時四十分東京発「あさま五二七号」で東京を発ち、長野経由十四時十分高田に到着しました。今年は雪が多かった為、黒姫から二本木付近迄未だ残雪があり、この区間はガスが一面たちこめ見通しが五〇メートル位の所があり、桜も殆んど蕾の状態でした。高田は曇天でしたが、時々小雨が降る天候の為ふるさと交流会の会場は高田公園内の厚生南会館に変更になりました。会場に荷物を置き高田公園内を散策してみると、桜は二分咲き程度でした。

十七時三〇分送迎バスで今夜の宿泊地清里区ケ池「面積十二ヘクタール、水深三十三メートル（最深、満水量二、三〇万トン）」湖畔にある山荘京ヶ岳へ向いました。高田市街から次第に山路に入ると、残雪がありガスのため見通しが悪くなりました。十八時頃山荘京ヶ岳に着。十九時から清里区の関係者も合流して宴会になりました。郷土芸能「龍神太鼓」を地元有志が披露してくれました。地元春の山菜：落のとう、筍、蕨：を中心に新鮮な料理で款待して頂きました。

翌十四日は朝の内は霧雨でしたが、十時頃には曇天となりました。晴れていけば山荘から須城平野の大バノラマが見えた筈とのこと。ガスの為須城平野が見れず残念でした。八時五十分送迎バスで山荘京ヶ岳を出発。上越清里星のふるさと館でプラネタリウム「春の星座」、隕石などの展示品を見学し、十時十分頃、岩の原葡萄園に到着。一九九〇年、日本のワイン葡萄の父「川上善兵衛」によつて拓かれた第二号石蔵「一八九八年」などの見学、ワイナリーでのワインの試飲、買い物をし、十一時頃菅原神社「菅原前方後円墳」の見学、折の美術感「創作折り加味：等身大の折り紙」の鑑賞をしました。この頃には太陽が顔を出してきました。

十一時五〇分頃、菅原神社近くのそば処「芭蕉亭」に到着。此処で自家製石臼挽き手打ち蕎麦の昼食を頂きました。十二時四〇分「芭蕉亭」を出発し、高田公園の側を通り：桜は昨日より赤味を帯びていました：高田駅に十三時十五分に到着しました。

高田で下車するメンバーと別れ、送迎バスは直江津へ向いました。私は高田で皆と別れ、もう一夜高田に泊まることにしました。午後、従姉妹と車で北陸自動車道を走ってみました。道路筋にある糸魚川市（旧能生町）の「かにや横丁」へ寄ったところ、冷凍の味も素っ気も無い蟹を食べさせられました。観光を旗印にしても一部の業者でしょうが、この様なやり方では駄目ですね。

他の地域でも観光道路際では、梨、蜜柑、葡萄などの地元産品の粗悪品を、一元客向けに販売しているのを時々みかけます。北陸自動車道を柿崎付近迄走ってみました。私が知っていた風景と全く異なり浦島太郎の様な感じでした。夜、本町の某飲食店で食事をし上越市の過疎化に付いて意見を聞いてみたところ、市街地内に無料駐車所を設けないと人寄せが出来ない。特に六月一日からは大変だとの声がありました。

翌十五日午前晴天、高田公園の桜を見に行きました。桜は既に五分咲き程度に開花し、高田城三重櫓、濠、残雪の妙高山を背景に美しい姿を見せてくれました。神社社に参拝し帰途につきました。関係各位の皆様のご苦勞に感謝し、またの機会を楽しみに筆を置きます。





花見会場



宴会場





雨天のため厚生南会館で乾杯



清里の残雪



清里の宿



郷土演芸





清里星のふるさと館



岩の原葡萄園



岩の原 萩原社長



石蔵見学



川上善兵衛資料館



菅原神社



折の美術感見学